

テーマ：主に確信を置く者はどんな苦しみの中でも平安を持って歩いていくことができる

○イントロ

ポリュカルポス

「私は 86 年間キリストに仕えてきましたが、彼は決して私に対して悪いことをしませんでした。どうして、私を救ってくださった私の主を冒瀆することができましようか。」

○信仰者が持ち続けるべき確信

1. _____(v1)

※詩篇 11:7

「主は正しく、正義を愛される。直ぐな人は、御顔を仰ぎ見る。」

※詩篇 18:19

「主は私を広い所に連れ出し、私を助け出された。主が私を喜びとされたから。」

※ローマ 12:19

「愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」」

2. _____(vv2-7)

●ダビデが警告と教えを与えた三つのグループ

a) ダビデの権威を汚そうとする敵(vv2-3)

※詩篇 49:2

「低い者も、尊い者も、富む者も、貧しい者も、ともどもに。」

※詩篇 62:9

「まことに、身分の低い人々は、むなしく、高い人々は、偽りだ。…」

※箴言 18:2

「愚かな者は英知を喜ばない。ただ自分の意見だけを表す。」

※箴言 12:23

「利口な者は知識を隠し、愚かな者は自分の愚かさを言いふらす。」

※ローマ 8:35,38-39

「私たちがキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。…私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」

b) 中傷されたことで怒りを覚えるダビデの仲間(vv4-5)

※エペソ 4:26

「怒っても、罪を犯してはなりません。…」

※箴言 21:23

「自分の口と舌を守る者は、自分自身を守って苦しみに会わない。」

●三つの怒り(エドワード・ウェルシュ)

①隠れた怒り…不平不満を言うこと、ゴシップ、自己防衛、いらいらすること、執念深いこと

②冷たい怒り…無視、距離を置くこと、関わりを避けること、無関心、人の過ちを数えること、非難すること

③熱い怒り…ねたみ、激怒、殺人、口論、憎しみ、暴力、いじめ

※詩篇 51:16-17

「たとい私がささげても、まことに、あなたはいけにえを喜ばれません。全焼のいけにえを、望まれません。神へのいけにえは、砕かれた霊。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。」

※箴言 28:26

「自分の心にたよる者は愚かな者、知恵をもって歩む者は救われる。」

c) 希望を失い悩むダビデの仲間(vv6-7)

3. _____(v8)

○まとめ